

バイパスの開通により通過時間が**約6分短縮**

— 県道石岡城里線のバイパス開通 —

開通したバイパスの状況



- 当路線は、旧内原町を南北に縦断する唯一の幹線道路ですが、幅員が狭く屈曲しており、歩道もな^いため、円滑な交通の支障になっていました。
- 旧道に並行するバイパスの新設により、**約13分**かかっていた**移動時間**（国道50号～内原塩ヶ崎線）が**約7分**に**短縮**されました。
- また、旧道の交通量が減少し、歩行者の安全性が向上しました。
- 県立あすなろの郷、県立内原養護学校、水戸医療センター（旧国立水戸病院）等の福祉施設、大型ショッピングセンター等の周辺施設へのアクセスが改善しました。

旧道の状況



(主)石岡城里線 道路改良事業

- ・事業期間 昭和55～18年度
- ・整備延長 5,170m
- ・幅員 16.0/6.0m
- ・総事業費 約35億円

通過時間

約13分(旧道)
 →約7分(バイパス)で
 6分短縮

CO2削減効果

約5,730t → 約4,260t